

第 22 回小山田大龍地区まちづくりを考える会まちビジョン準備会

2024. 11. 20

Pm6:00~7:50

場所；大龍会館

■第 22 回準備会

参加者 会長他 12 名 小野路町内会 2 市 2 アドバイザーの計 18 名

1. 大谷会長のあいさつ

まちビジョンも審議会に諮られ、条例が出来て最初のものとなる予定で、これまでの活動の結果が出た。

2. フットパスツアー&お掃除大作戦の説明（小野路町内会担当者の説明）

パンフレットで説明

ごみは少ないが、フットパスを歩き最後に豚汁をふるまうなど里山環境を楽しんで、親睦を高める企画。昨年は 50 名程度の参加があった。

質問：広報活動はどの様に行ったのか

回答：フェイスブック、チラシ、鶴川小・中学校などにも案内をした

質問：駐車場の確保は

回答：公会堂横の駐車場に 30 台程度可能

以上のような内容で大龍地区住民にも参加の呼びかけがあった。

また、小野路町内会には、大龍地区がまちビジョンの取り組みをしているので、将来的にまちづくりで横の連携を図りたいとお伝えした

3. 街づくり景観審議会の報告（町田市）

大きく三点ほど指摘があった

- ① 街づくりの主体など条例の内容に係る質問があり、まちビジョンの表紙裏に
 - ・まちビジョンの役割
 - ・まちビジョン実現に向けた役割分担を新しく 1 ページ入れる修正を行った
- ② 地区内で活動している団体も活動の主体であるため、「地区に関係する法人・事業者との連携」という表現を、「地区内での連携強化」という表現に改めた
- ③ 地域の資源であるフットパスに係る活動を具体的な取り組みに追加した
- ④ まちビジョンに掲載されている団体等の紹介が出来るように QR コードの添付をしたらどうか
 - 既にホームページを持っている団体を含め今後準備が出来次第データの修正を図っていく事としたい（準備会の意見）

また、1年ごとの成果や見直しについてなど意見があったが全体的には一部修正を行うものの審議会においてまちビジョン（案）は了承された。

今後、条例に基づく手続きが行われ、今年中には町田市で最初のまちビジョンとして策定される予定である。

4. アドバイザーの報告（第21回準備会の報告）

・審議会の報告（補足）を行った

今回が初めての委員がおられ、条例の内容と質問・意見に若干の齟齬は感じたがまちづくりの主体やその他意見についてもまちビジョンに反映することで良いと考えている。

5. まちビジョンの修正について

準備会として、街づくり景観審議会の意見を基にビジョンを修正することと、策定に向けて手続きを進めることについて了承する事で一致した。

また、まちビジョン策定後は「まちビジョン準備会」の名称の使用は終了し、改めて「小山田大龍地区まちづくりを考える会」として活動を行うこととした。

6. 団子焼きの日程調整について

例年1月14日を充てていたが、今後は第二日曜日（成人の日前日）に行う提案（町内会代表等）が出され歴史的な経緯、消防団との連携、神社の意向や主催者等で議論が行われた。

結果、地域の事業として継続するにはより多くの参加を得る事や後片付けなどの運営上でも休日に行う必要があり、次回の団子焼きから成人の日前日の日曜日に開催する事となった。

来年は1月12日（日）午後4時から開催することで承認された。

7. 次回は来年1月22日（水）大龍会館 Pm6:00～